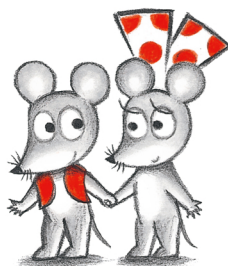


ぼくは ぼくでよかった
だって
ねみちゃんに
であえたんだもの



誕生

50周年 ねずみくんのチョコッキ展

なかえよしを・上野紀子
想像力のおくりもの

休館日：7/7(月)、14(月)、22(火)、28(月)、8/4(月)、12(火)、18(月) 開館時間：10:00～18:00(最終入館は17:30)※7/11、18、25、8/1、8、15、22は「ふらっとフライデー!サマーナイトミュージアム」(20:00迄開館、最終入館19:30) 入館料：一般1,200円(960円)、高校・大学300円(240円)、中学生以下無料 ※()は前売券、20名以上の団体、「ふらっとフライデー!サマーナイトミュージアム17:30以降のご入館」「50才 anniversary」割引料金 ※その他各種10%割引あり。※前売券：i.JTB チケット取扱いのコンビニ各店にて販売。
販売期間 6月11日～ 7月4日 i.JTB 番号⇒0266507 主催：公益財団法人鷹山宇一記念美術振興会 共催：青森放送株式会社/鷹山宇一記念美術館友の会 特別協力：ポプラ社、ねずみくんのチョコッキ展実行委員会 アートディレクション：福島よし恵 後援：青森県、青森県教育委員会、七戸町、七戸町教育委員会、七戸町文化協会、(一社)しちのへ観光協会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社

道の駅しちのへ「七戸町文化村」

2025年7.5土～2025年8.24日 七戸町立鷹山宇一記念美術館



はじめに

1974年、赤いチョッキを着たちいさな主人公、ねずみくんが登場する絵本『ねずみくんのチョッキ』が刊行されました。作家・なかえよしを、画家・上野紀子夫妻の共同作業によって生まれた絵本は、鉛筆で描かれたモノクロの絵と最小限の文章、余白を生かした美しい構図で注目を集めます。

本展では、最新作を含むシリーズ全作品が集結し、原画やスケッチなど約200点を展示。夫妻が追求しつづけてきた「想像すること」への長年の取り組みをご紹介します。なかえよしを・上野紀子が二人三脚で作りだした豊かで温かな世界を、ぜひお楽しみください！

見どころ

- ①扉の国のチコ ②ねずみくんのチョッキ
③りんごがたべたいねずみくん
④ねずみくんとホットケーキ



①



②



③



④

ねずみくんの絵本シリーズの原画やスケッチが集結！

選りすぐりの名場面を、貴重な原画やスケッチで展示します。また、なかえよしをが構想し、上野紀子が描き出したシュルレアリスムの油絵「少女チコ」シリーズや、ふたりの絵本作りの原点『ペラペラの世界』の原画も展示。



ふたりのアトリエ

上野紀子の作業机を再現したブースや、愛用の品々・蔵書などを通して、想像力の源を紹介します。



ねずみくん＆ねみちゃんと写真を撮ろう！

会場入り口には、立体オブジェを展示。表紙のカラージュ体験、ねずみくんへお手紙を書こうなど、参加型の展示もたっぷり。

オリジナルの一冊がつくれる絵本
『ねずみくん もういいかい』

会場内をめぐり、かくれんぼをしている動物をみつけてスタンプを集めると絵本が完成します。この展覧会のために書き下ろした限定品です。
価格：660円(税込)



スタンプ 絵本

著者紹介



ふたりは大学時代に出会い、1966年に結婚。同年、中江が文章を手がけ、上野が絵を描いた『ペラペラの世界』を自費出版。1973年、アメリカのハーバー・アンド・ローから『ELEPHANT BUTTONS』を出版。1974年、『ねずみくんのチョッキ』をポプラ社から刊行し、1975年、同作品で第6回講談社出版文化賞絵本賞を受賞。

現在まで50年以上、「ねずみくんの絵本」シリーズの刊行が続いている。『いたずらラちゃん』で第10回絵本にっぽん賞受賞。2005年、それまでの業績により巖谷小波文芸賞を受賞。2020年、なかえよしをが日本児童文芸家協会選定の児童文化功労賞を受賞。ふたりが共作した作品は、200冊以上にのぼる。

ワークショップ



詳細は当館HPへ↓



交通アクセス



・東北新幹線七戸十和田駅より徒歩7分
(道の駅しちのへ・七戸町文化村内)

公式Instagram



UICHIMUSEUM

グッズ

ロールシール 990円(税込) →



↑ふわふわぬいぐるみ サイズS
ねずみくん/ねみちゃん 各3,190円(税込)



↑ねずみくんのジョッキ
1,980円(税込)

←大きめショッピングバッグ
2,090円(税込)



道の駅しちのへ「七戸町文化村」
七戸町立 鷹山宇一記念美術館
〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94 TEL: 0176-62-5858 FAX: 0176-62-5860